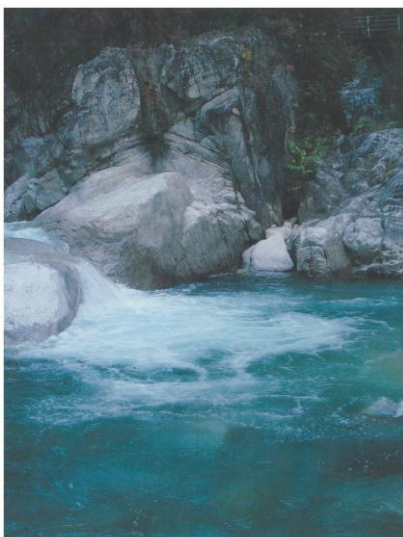


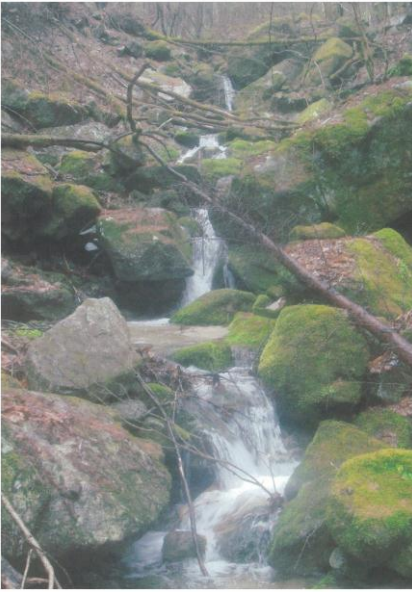
1月 遠山あまご

奥山の溪谷の落差のある流れはおもいのほか強く、その環境を生き抜く、幅広のあまごの姿はとても美しい、ただこの一言です。



2月は、いわなを紹介します。

やまと岩魚



奥山の最も上流に住み、体は茶黒く紫色の体側にはオレンジ色のいくつかの点、薄い斑紋、お腹は黄オレンジから赤朱で、胸腹尾ひれの先は白く縁どられ、尾ひれの両端は赤く、顔は丸みをおびています。

「チョロチョロと流れのあるところなら背中を出してクネクネと体をくねらせて小さな淵でも、行ったり来たりするんだ。と昔山仕事をしている人から聞いたことがありました。

一度だけ梅雨の小雨の日に、水際の濡れた落ち葉の上を体を水から出して一生懸命に動かしていた姿を見たことがありました。

なんとも不思議な光景でした。」



次回のかじかをお伝えします。

かじか

愛嬌のある姿で、川底を泳ぐというより
石の間を大きな胸ひれで動くしぐさはな
んともいえない可愛さがあります。



体の色も、川の環境によってもちがいます。
大きなカジカの背中は、黒く、背びれのオ
レンジ色がとても綺麗です。

